令和6年度「全国学力・学習状況調査」結果についてのお知らせ

甲斐市立敷島小学校

■この調査は・・・

義務教育の機会均等とその水準の向上のために、児童生徒の学力や学習の状況を把握・分析して教育施策の改善を図るとともに、一人ひとりの児童生徒の学習の課題を把握して指導改善につなげるために実施しました。本校の子どもたちの課題について共通理解を図り、学校・家庭・地域が一体となって学力・学習状況の改善に取り組めるよう、結果の概要をお伝えします。

■調査の結果は・・・

対象が小6と中3、教科も国語／算数・数学に限られています。したがってここに示す結果は児童生徒の「学力の特定の一部分」であることをご理解ください。（英語・理科は、3年に1度の調査となります。）

1 調査結果について

■学力調査結果からみえる本校の子どもたちの姿

- ・国語の平均正答率は全国より低く、いくつかの課題が見られます。特に「言葉の特徴や使い方に関する事項」においては、主語と述語の関係を捉えたり、既習の漢字を文中で正しく使ったりすることにおいて、低い傾向があります。一方、「物語を読んで心に残ったところとその理由を書く」という記述式の問題では、全国平均を上回る成果が見られました。
- ・算数の平均正答率は全国より低く、いくつかの課題が見られます。特に「変化と関係」においては、自分の考えの理由を言葉や数を用いて記述することにおいて、低い傾向があります。一方、「円グラフの特徴を理解し割合を読み取る」「図形の見取図を正確に読み取る」という問題では、全国平均を上回る成果が見られました。

■質問紙調査からみえる本校の子どもたちの姿

- ・よい傾向がみとめられる項目
「自分には、よいところがあると思いますか」「分からないことや詳しく知りたいことがあったときに、自分で学び方を考え、工夫することはできていますか」について高い数値を示しています。
「5年生までに受けた授業で、PC・タブレットなどのICT機器を、どの程度使用しましたか」について高い使用頻度を示しています。
「算数の勉強は好きですか」「算数の授業で学習したことは、将来、社会に出たときに役に立つと思いますか」について高い数値を示しています。
- ・課題となる項目
「自分と違う意見について考えるのは楽しいと思いますか」「学級の友達との間で話し合う活動を通じて、自分の考えを深めたり、新たな考え方に気付いたりすることができていますか」「地域や社会をよくするために何かしてみたいと思いますか」という質問に対して、肯定的に回答した児童の割合が低いです。

2 これからの取組について

■学校で取り組んでいくこと

- ・授業を通して基礎的・基本的な学習内容が定着するように、授業のめあてを達成するための練習問題や課題に十分にに取り組む時間を確保します。
- ・算数においては、自分の考えを言葉や図・数直線・式などの根拠をもとに説明する場面をより多く設定します。
- ・授業中に、複数の意見を比較検討する場面を増やし、多様な考えに触れる機会を増やします。さらに、他の人と自分の考えが異なることや、新たな視点で物事を考えることの重要性についても伝えていきます。

■家庭において取り組んでいただきたいこと

- ・自主学習や宿題に取り組んでいるお子さんに、励ましの声をかけてください。
- ・「家庭学習の手引き」を参考に、お子さんに合った目的になっているかを確認したり、学習内容を一緒に考えたりする機会をできる範囲でつくってください。
- ・身近な地域や社会で起きていることに興味を持てるよう、ニュースや新聞記事・日常で起きた出来事等について家庭の中で話題にしてください。